



研究成果を報告する園山教授（右）と通訳する裴虹研究員（左）

園山繁樹教授（障害科学域/人間総合科学研究科長）が本学で受け入れている中国浙江省寧波市海曙区学校教育局との共同研究「中国における自閉症教育カリキュラムの開発研究」（H27～29年度）の成果報告が、11月22日現地で開催された海曙区特殊教育30周年及び寧波市達敏学校（知的障害特別支援学校/共同研究の実践モデル校）創立30周年祝賀大会において行われました。当日は、北京師範大学特殊教育研究所教授、北京聯合大学教授など中国の著名な自閉症研究者7名、寧波市政府・地域代表など約100名、並びに中国16省より特別支援学校教員300名（内、特別支援学校長約60名）、計400名以上が出席し、本共同研究の裴虹研究員（人間系）が通訳しました。共同研究で開発された「中国知的障害特別支援学校における自閉症教育カリキュラム」や「自閉症教育カリキュラム実践の保障システム」に注目が集まり、中国の知的障害特別支援学校において活用できるモデルとして高く評価されました。また、園山教授と裴虹研究員は、午後、達敏学校で開催された公開授業研究「自閉症教育授業協議会——斉授業づくり」の講師も務め、知的障害や自閉症を有する児童一人ひとりの実態に応じた授業内容と指導法の実践、並びに日本独自の授業研究の方法が注目され、参加者からは今後の共同研究の依頼もなされました。



地元メディアでの報道（写真は以下 URL より引用）

<http://mp.weixin.qq.com/s/D0yq77Am8rYpr8xiyFFGsQ>

<http://mp.weixin.qq.com/s/HycRLmwkyGCarM4PzMhwNA>

<http://hsnews.cnnb.com.cn/system/2017/11/23/011625639.shtml>

<http://zj.zjol.com.cn/news/810426.html>

<http://www.hsedu.com.cn/info.aspx?Id=117931>